

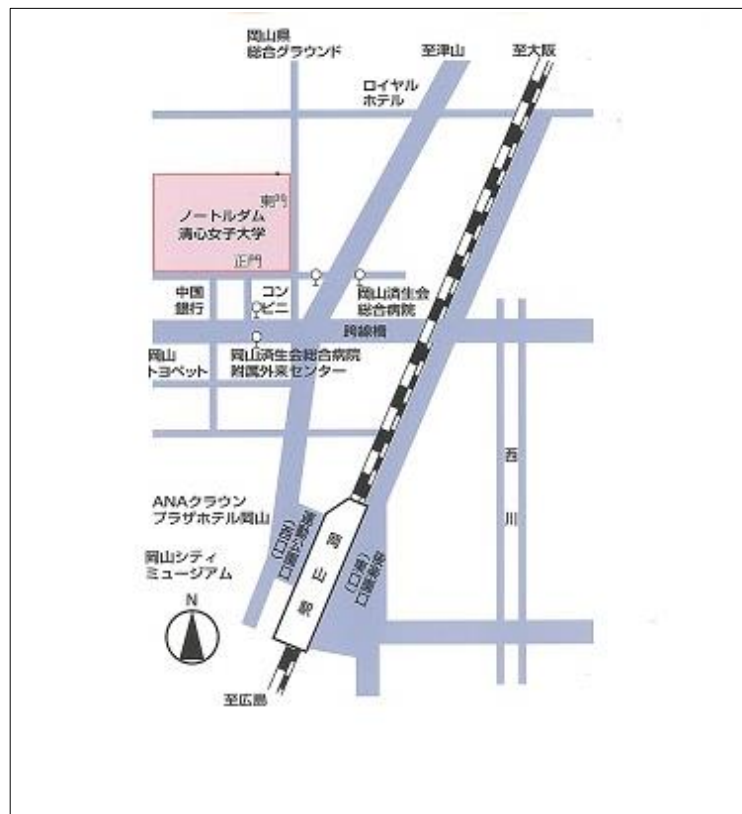
(15)ノートルダム清心女子大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	1期	2024年4月8日	～	2024年8月6日
	2期	2024年9月25日	～	2025年1月31日
試験期間	1期	2024年7月23日	～	2024年8月6日
	2期	2025年1月16日	～	2025年1月31日
授業時間	1時限	9:00	～	10:30
	2時限	10:45	～	12:15
	3時限	13:00	～	14:30
	4時限	14:45	～	16:15
	5時限	16:30	～	18:00

② アクセス(案内図)

- JR岡山駅(西口)から北へ徒歩約10分
- 岡電バス又は中鉄バスのいずれかで「済生会病院前」下車
- 〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9



③ 担当窓口

学務部	
所在地:	〒700-8516 岡山市北区伊福町 2-16-9
電話:	086-255-5583

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

申込期限は、前期:4月4日(木)まで 後期:9月12日(木)までです。なお、お申込みについては、必ず所属大学等のご担当者を通してください。

・ 履修手続

履修者の皆さんへ

1 対面授業科目の履修者は、以下の印刷物を配布しますので、初回授業時に必ず受け取りに来てください。

また、その際、講義室の場所をお知らせしますので、時間の余裕を持って来てください。

- ① 学生便覧
- ② 学内案内図
- ③ 図書館の利用について
- ④ その他 講義関係書類

図書館を利用するためにはライブラリーカードが必要ですので、附属図書館で申請してください。手続きの際は、学務部がご案内いたします。

2 自転車通学を希望する場合は、手続きが必要です。初回に来学された際にお問い合わせください。

・ 施設利用

ノートルダム清心女子大学在学の学生と同じ扱いとします。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.ndsu.ac.jp/department/syllabus.html>

・対面授業科目

対面授業				15001
授業科目名:キリスト教学 I			担当教員氏名:山根 道公	
Christian Studies I				
履修年次 1~4	2 単位	2 期	1コマ	定員 5 人
<p>【授業の目的】 死にたいと想うほどの人生の挫折の中で聖書に出会い、生きる希望の光を見出し、それを作品に表わした人たちがいる。本授業ではそうした作品を導入とし、新約聖書と遠藤周作『イエスの生涯』をテキストにして、新約聖書の福音書を中心にイエスの生涯と教えについて学び、闇の中にいる人間に希望の光を与えるイエスの福音(喜びの知らせ)とはどのような精神、価値観をもつものかを考察することで、そうしたキリスト教的精神、価値観が、現代社会にあってどのような意味をもつか、理解し、さらに自分自身の問題とどのような関わりをもつか、主体的に考える力を身につけることを目的とする。また、そうした理解に必要なキリスト教の基礎知識を修得する。</p>				
<p>【授業内容】 1. 導入:現代人と聖書、イエスの福音に出会った人たち(遠藤周作、井上洋治、三浦綾子、星野富弘、水野源三等) 2. 『新約聖書』の構成・風土的背景 3. イエスの生誕、クリスマスの意味 4. 洗礼者ヨハネとイエス、メシアニズム 5. 神の国の福音宣教、公生活の開始 6. 奇蹟物語と慰め物語 7. イエスの祈り 8. ユダヤ教指導者層との対決、安息日論争 9. 北ガリラヤへの逃避行、受難と死の予告 10. 死を覚悟したエルサレムへの旅 11. エルサレム入城と最後の晩餐 12. イエスの受難と十字架の死 13. イエスの復活顕現物語 14. 現代人とイエスの福音 15. まとめ・(期末レポートについて)</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> 遠藤周作『イエスの生涯』(新潮文庫)、『聖書』</p>				
<p>【参考図書】 なし</p>				
<p>【成績評価の方法】 ・リアクションペーパー…30% ・期末レポート…70%</p>				

対面授業				15002
授業科目名:キリスト教学Ⅱ			担当教員氏名:岡田 紅理子	
Christian Studies Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】</p> <p>キリスト教の成立と発展の中核にあるのは、イエスという人物を「神の子キリスト(救い主)」とする信仰である。しかし本科目のねらいは、イエスがなぜキリストなのか、というよりも、歴史上に実在したイエスがどのような人物であったのかを探究することにある。</p> <p>具体的には、イエスが生きた当時の社会、文化、政治的背景を踏まえつつ、「罪人」とカテゴライズされた人々とともに生き、皮肉やユーモアを交えたことばと具体的な行動によって権力と抑圧に抗った、喜怒哀楽の感情を持つイエスの人間像に迫り、キリスト教の原点を捉えていく。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 聖書とは 3. イエスが生きた時代 4. イエスの幼年期 5. 洗礼者ヨハネとの出会い 6. イエスの自立 7. イエスがかがみ込んだ先の人々 8. イエスが起こした奇跡 9. イエスが説いた神 10. 律法学者たちとイエス 11. イエスが説いた愛と交わり 12. イエスの危機 13. イエスの受難と死、復活 14. わたしにとってのイエス:ある修道女の語り 15. わたしにとってのイエス:ある司祭の語り 				
<p>【テキスト】</p> <p>『聖書(新共同訳)』もしくは『聖書(聖書協会共同訳)』(いずれも日本聖書協会)</p>				
<p>【参考図書】</p> <p>ジョン・ディア『山上の説教を生きる:八福の教えと平和創造』志村真(訳)、新教出版社、2021年 本田哲郎『釜ヶ崎と福音:神は貧しく小さくされた者と共に』岩波書店、2015年</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み態度 20% ・リアクションペーパー 40% ・レポート 40% 				

対面授業				15003
授業科目名:キリスト教学XVI			担当教員氏名:山根 道公	
Christian Studies XVI				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	定員 5 人
<p>【授業の目的】 「愛は決して滅びない」「神は耐えられないような試練にあわせることはない」といった言葉は、新約聖書の中のパウロ書簡の言葉である。そうしたパウロ書簡と共に新約聖書の中の使徒言行録およびそれと関連する遠藤周作『キリストの誕生』をテキストにして読み、イエスの死後、イエスを見捨てて逃げた弟子たちが、イエスをキリスト(救い主)と呼び、迫害にも怯まない信念をもって宣教する使徒となり、原始キリスト教が成立し、さらにキリスト教徒を迫害していたパウロが回心して異邦人伝道の使徒となることで、キリスト教がヘレニズム世界に広がるという歴史的展開を学ぶ。そして、弱かった弟子たちが何故に強い信念の使徒に変貌できたのかを考察する。また、パウロ書簡の言葉から、生きることの意義を追求するための思想を学ぶ。</p>				
<p>【授業内容】 1 導入:現代人とパウロ書簡の言葉 2 新約聖書の使徒言行録と書簡の概説 3 原始キリスト教の出発 4 ユダヤ教徒からの迫害、ステファノ殉教 5 迫害者パウロの回心 6 原始キリスト教のエルサレムとアンティオキア 7 パウロ第一次伝道旅行 8 パウロ第二次伝道旅行 9 パウロ第三次伝道旅行とローマへの旅 10 ペトロの殉教、パウロの殉教 11 ユダヤ戦争と原始キリスト教 12 原始キリスト教の発展 13 原始キリスト教と福音宣教 14 パウロ書簡より、愛の讃歌、苦しみの連帯 15 まとめ</p>				
<p>【テキスト】聖書、遠藤周作『キリストの誕生』(新潮文庫)</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】リアクションペーパー30%、期末レポート70%</p>				

対面授業				15004
授業科目名: 英語学・言語学研究ⅣA			担当教員氏名: 齋藤 衛	
Research in English Linguistics ⅣA				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 日本語のさまざまな文法現象を取り上げて、英語と対比させながら分析する。取り上げる現象は、基本的な句構造、文法格、主題化、補文構造、接続詞、受動化、使役化などを含む。日英語に見られる共通点と相違点を観察しながら、卒業論文研究で必要となる文法分析の方法を学ぶ。母語の分析を行うので、受講生の積極的な参加が期待される。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語の特徴 - 語順 2. 主題と主語化 3. 文法格 (1) 4. 文法格 (2) - 複合動詞の場合 5. 文法格と後置詞 6. 動詞の状態性と自制性 7. 副詞節 8. 補文標識の種類と解釈 (1) 9. 補文標識の種類と解釈 (2) 10. 日英語における「はい」と「いいえ」 11. 再帰代名詞 12. 主題化と主語化再考 13. 日英語の存在文 (1) 14. 日英語の存在文 (2) 15. 総復習 				
<p>【テキスト】 久野暲著『日本文法研究』大修館書店, ISBN978-4-469-22005-6, 本体 2,300 円。</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 レポート…50%、課題…50%</p>				

対面授業				15005
授業科目名:英米文学研究 IIIA			担当教員氏名:新野 緑	
Research in British and American Literature IIIA				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 <『不思議の国のアリス』を読む> オックスフォード大学の数学教師ルイス・キャロルが書いた『不思議の国のアリス』(1865)は、当時の児童書としては珍しく教訓のない物語>である。言葉の意味の二重性や既存の詩のパロディを駆使して、当時の人々に浸透し、現在の私たちもまた共通して持っている常識や価値観に、読者が疑問を持ち、それを覆していくような仕掛けがふんだんに施されている。この物語は決して、子供のためだけの無邪気な冒険物語ではない。物語を精読しながら、ヴィクトリア朝のイギリスの文化や社会のあり方を学ぶと同時に、言葉の孕む様々な不思議を発見することで、社会の常識から自由になって、世界を見る新たな視点を獲得する方法について考えてみたい。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction: 授業の進め方と作家紹介 2. Chapter 1: 地下の国とは 3. Chapter 1: アリスとは何者か 4. Chapter 2: パロディの意義 5. Chapter 3: イギリスの歴史 6. Chapter 3: 同音異義語の面白さ 7. Chapter 5: 人間のアイデンティティとは何か 8. Chapter 6: チェシャ猫と笑い 9. Chapter 7: 儀礼と意味 10. Chapter 7: 時間とは何か 11. Chapter 9: ウミガメもどきと教育 12. Chapter 9: 言葉の変容 13. Chapter 11&12: 裁判の手順 14. Chapter 12: 夢と現実 15. まとめ・試験 (なお、取り上げる箇所は変更する可能性がある)				
<p>【テキスト】 Lewis Carroll, <i>Alice's Adventures in Wonderland and Through the Looking-Glass</i> (Penguin Classics, 2003). ISBN-10: 9780141439761</p>				
<p>【参考図書】 教室で適宜紹介する</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業への積極的参加(レスポンスペーパー、授業での発言等) 30% 学期末試験 70%</p>				

対面授業				15006
授業科目名:英米文学研究 III B			担当教員氏名:新野 緑	
Research in British and American Literature III B				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 <肖像画と文学> 肖像画はヨーロッパにおいて上層階級のステイタスを表すものとして貴族やジェントリーの屋敷に飾られてきた。18世紀になると、そうした風習は裕福な中産階級にも好んで取り入れられ、単なる個人の肖像ではなく、親しい友人や家族がグループワークに従事する「家族の肖像」も流行する。こうした当時の歴史的文化的風潮を受けてか、文学作品にもさまざまな「肖像画」の描写が導入されて、物語に重要な役割を果たす。18世紀から19世紀に至るイギリスの演劇、小説、詩に現れる肖像画の描写を取り上げて全員で精読し、肖像画、あるいは肖像画の描写が作品に果たす意味についてグループディスカッションを通して考えたい。</p>				
<p>【授業内容】 1. Introduction: 授業の進め方と肖像画の歴史 2. Richard Brinsley Sheridan, <i>The School for Scandal</i> 3. クラスディスカッション 4. Jane Austen, <i>Pride and Prejudice</i> 5. クラスディスカッション 6. William Makepeace Thackeray, <i>Vanity Fair</i> 7. クラスディスカッション 8. George Eliot, <i>Middlemarch</i> 9. クラスディスカッション 10. Robert Browning, "My Last Duchess" 11. クラスディスカッション 12. Oscar Wilde, <i>Picture of Dorian Grey</i> 13. クラスディスカッション 14. Daphne du Maurier, <i>Rebecca</i> 15. まとめ・試験 (なお、取り上げる作品は変更する可能性がある)</p>				
<p>【テキスト】 プリントを配布する</p>				
<p>【参考図書】 教室で適宜指示する</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業への積極的参加(レスポンスペーパー、授業での発言等) 20% クラスディスカッションの成果とレポート 30% 学期末試験 50%</p>				

対面授業			15007	
授業科目名: 古代文学特講 I			担当教員氏名: 東城 敏毅	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 『万葉集』は、奈良時代に成立した日本最古の和歌集である。本授業は、『万葉集』を取り上げ、七・八世紀の時代背景も詳細に概観しながら、日本の和歌がいかに形成されていったのかを考察する。また、万葉歌の表現方法・表記方法の多様性と特色を、古代和歌史の視点や考古学・歴史学の視点も取り入れながら考察する。</p>				
<p>【授業内容】 1 授業ガイダンス「訓む」と「読む」と・額田王の世界①: 代作歌人としての位置付け 2 額田王の世界②: 難訓歌に挑む 3 「穂積皇子・但馬皇女歌群」①: 配列から考える「歌物語」 4 「穂積皇子・但馬皇女歌群」②: 但馬皇女の「朝川渡る」 5 歌木簡と万葉集①: 木簡から見える古代の生活 6 歌木簡と万葉集②: 「難波津の歌」の謎 7 大和三山の歌①: 三首の疑問 8 大和三山の歌②: 歴史的背景と難訓歌 9 天平時代のサラリーマン事情: 生活の場と出世への遠い道のり 10 柿本人麻呂の世界①: 安騎野の歌の歴史的背景 11 柿本人麻呂の世界②: 安騎野の歌「東の野に炎の」の訓み 12 「梅花の宴」①: 「令和」の出典歌を読解する 13 「梅花の宴」②: 大伴旅人と山上憶良の憶い 14 高橋虫麻呂「菟原処女伝説歌」①: 上代における「伝説歌」の意義 15 高橋虫麻呂「菟原処女伝説歌」②: 考古学・歴史学の視点から・総括</p>				
<p>【テキスト】 ＜必携書＞ 佐竹昭広・木下正俊・小島憲之『補訂版 萬葉集 本文篇』(塙書房 1998 年)ISBN:978-4827300819</p>				
<p>【参考図書】 ＜参考書等＞ 上野誠・鉄野昌弘・村田右富実編『万葉集の基礎知識』(KADOKAWA 2021 年) その他、授業中に適宜紹介する。 なお、教材としてレジュメを随時配布する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 レスポンスカード 60% 学期末レポート 40%</p>				

対面授業			15008
授業科目名: 古代文学特講Ⅱ		担当教員氏名: 東城 敏毅	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature Ⅱ			
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ
<p>【授業の目的】 本授業は、『古事記』神話の基礎的な知識を習得し、日本神話の特色を理解することを目的とする。特に上巻の神話部分を中心に読解し、世界の神話とも比較しながら、古代人のものの考え方や価値観について考えるとともに、日本文学史上における神話の位置付けについても考察する。また多くの注釈書や研究史を概観し、作品を多角的に捉える視点を養う。</p>			
<p>【授業内容】 1 授業ガイダンス 2 創成神話:「天地初発之時」 3 造化三神:タカミムスヒとカミムスヒ 4 イザナキ・イザナミ神話①:二神の結婚・国生み 5 イザナキ・イザナミ神話②:黄泉国(1) 6 イザナキ・イザナミ神話②:黄泉国(2) 7 三貴子の誕生:アマテラス・ツクヨミ・スサノヲ 8 アマテラス神話①:誓約 9 アマテラス神話②:天の岩屋 10 スサノヲ神話①:スサノヲの追放とオホゲツヒメ 11 スサノヲ神話②:ヤマタノヲロチ(1) 12 スサノヲ神話②:ヤマタノヲロチ(2) 13 出雲神話①:「稲羽の素戔」とオホクニヌシ 14 出雲神話②:根の堅洲国 15 授業の総括</p>			
<p>【テキスト】 <必携書> 中村啓信訳注『新版 古事記』(角川ソフィア文庫 2009年)ISBN:978-4044001049</p>			
<p>【参考図書】 <参考書等> この史代『ぼおるぺん 古事記』天の巻・地の巻・海の巻(平凡社、2013-2014年) その他、授業中に適宜紹介する。 なお、教材としてレジュメを随時配布する。</p>			
<p>【成績評価の方法】 レスポンスカード 60% 学期末レポート 40%</p>			

対面授業				15009
授業科目名: 古代文学特講Ⅲ			担当教員氏名: 中井 賢一	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature Ⅲ				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	定員 5人
<p>【授業の目的】 平安期物語作品が、後代にいかに関承され、また超克されていくか、その享受の様相について、源氏物語を軸に多角的に考察する。途上、一部、和歌や随筆等の享受様態についても目配りをする予定である。1期・2期とも、体験的理解の観点から、個人、あるいはグループによる演習を含むものとする。</p>				
<p>【授業内容】 1 講義概要の説明—物語享受の諸相— 2 古筆切1—概説— 3 古筆切2—和歌切— 4 古筆切3—物語切— 5 源氏物語の写本1—概説— 6 源氏物語の写本2—青表紙本系— 7 源氏物語の写本3—その他— 8 中間まとめ 9 物語絵と物語歌合1—物語絵の世界— 10 物語絵と物語歌合2—風葉和歌集— 11 源氏物語の古注釈1—三条西家の学統— 12 源氏物語の古注釈2—その他— 13 文学と教育1 14 文学と教育2 15 1期まとめ</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> 『字典かな』 4305702606 笠間影印叢書刊行会編 笠間書院</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> 適宜指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 学期末レポートを課す。また、授業時間中に小テストを行う(2回程度)。 (復習シート 10%・小テスト 40%・学期末レポート 40%・演習発表と口頭試問 10%)</p>				

対面授業				15010
授業科目名: 古代文学特講IV			担当教員氏名: 中井 賢一	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature IV				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	定員 5人
<p>【授業の目的】 平安期物語作品が、後代にいかに関承され、また超克されていくか、その享受の様相について、源氏物語を軸に多角的に考察する。途上、一部、和歌や随筆等の享受様態についても目配りをする予定である。1期・2期とも、体験的理解の観点から、個人、あるいはグループによる演習を含むものとする。なお、2期においては、適宜、各研究機関より、特別講師を招聘することがある。</p>				
<p>【授業内容】 1 講義概要の説明—物語享受の諸相— 2 無名草子1—概説— 3 無名草子2—源氏物語論— 4 無名草子3—その他— 5 源氏物語と後期物語1—浜松中納言物語— 6 源氏物語と後期物語2—夜の寝覚— 7 源氏物語と後期物語3—狭衣物語とその他— 8 中間まとめ 9 源氏物語の続編・偽作 1—概説— 10 源氏物語の続編・偽作 2—山路の露①— 11 源氏物語の続編・偽作 3—山路の露②— 12 源氏物語の続編・偽作 4—山路の露③— 13 源氏物語の続編・偽作 5—雲隠六帖①— 14 源氏物語の続編・偽作 6—雲隠六帖②— 15 2期まとめ</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> 特になし。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> 適宜指示する。『字典かな』(4305702606 笠間影印叢書刊行会編 笠間書院)があると望ましい。</p>				
<p>【成績評価の方法】 学期末レポートを課す。また、授業時間中に小テストを行う(2回程度)。 (復習シート 10%・小テスト 40%・学期末レポート 40%・演習発表と口頭試問 10%)</p>				

対面授業			15011
授業科目名: 中世文学特講 I			担当教員氏名: 江草 弥由起
Special Lecture on Mediaeval Japanese Literature I			
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ
<p>【授業の目的】 本授業では鎌倉初頭に成立した『新古今和歌集』を学ぶことで、和歌史上類を見ないほど歌壇が隆盛した新古今時代を理解し、勅撰集を鑑賞する目を養うことを目的とする。『新古今和歌集』は他の勅撰集よりもその成立過程を詳細に見ることが出来る作品であり、一旦成立を見た直後から幾度も後鳥羽院の意思による改訂が行われるという、院の並々ならぬ本歌集への執心のほどが窺われる作品でもある。院は承久の乱で隠岐に遷された後も、さらに改訂を行い「隠岐本」と称される『新古今和歌集』を作り上げた。これほど長い時間をかけられ、撰集を命じた院(天皇)本人に執着された勅撰集は例がない。授業前半では『新古今和歌集』について、『明月記』や『源家長日記』などの記録を踏まえながら、その成立の在り方を学ぶ。後半では、所収和歌を歌人毎に学び、和歌史上技巧的と評される新古今時代の和歌を楽しめる感性を養ってもらいたい。</p>			
<p>【授業内容】 1. 勅撰和歌集について 2. 後鳥羽院について 3. 『新古今和歌集』成立過程① 和歌所設置と撰集の下命 4. 『新古今和歌集』成立過程② 完成と切り継ぎ 5. 承久の乱と隠岐本『新古今和歌集』 6. 和歌の鑑賞① 後鳥羽院 7. 和歌の鑑賞② 藤原定家 8. 和歌の鑑賞③ 藤原家隆 9. 和歌の鑑賞④ 藤原良経 10. 和歌の鑑賞⑤ 源通親 11. 和歌の鑑賞⑥ 源通具 12. 和歌の鑑賞⑦ 俊成卿女 13. 和歌の鑑賞⑧ 式子内親王 14. 和歌の鑑賞⑨ 西行 15. 授業のまとめ 定期試験に向けての学習要点の説明</p>			
<p>【テキスト】 <必携書> 授業に必要なレジュメは、manaba 掲示板を通じてデータで配布する。授業までにダウンロードし、必要に応じて印刷をして備えること。授業内でレジュメプリントの配布はしない。</p>			
<p>【参考図書】 <参考書等></p>			
<p>【成績評価の方法】 小テスト・定期試験(manaba のレポート機能を用いて行う。プリント・ノート類の利用可)</p>			

対面授業				15012
授業科目名: 中世文学特講Ⅱ			担当教員氏名: 江草 弥由起	
Special Lecture on Mediaeval Japanese Literature Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本授業では、『平家公達草紙』のテキストの読解と絵巻の鑑賞を行う。『平家公達草紙』は平家の公達である維盛、資盛、重衡などの逸話を集めたものである。華やかな宮廷行事の様や女たちとのやりとりが中心に描かれており、『平家物語』とは異なった視点で平家公達を表現している点が特徴にあげられる。平家公達を中心とした平家文化圏の人々が、鎌倉時代中後期(13世紀半ば~14世紀半ば)においてどのように描かれたのかを理解すること、その表現が何に基づき為されたのかを他作品と比較しながら読解すること、また『平家公達草紙』のような作品が後世に求められた意義を考えられることを目的とする。</p>				
<p>【授業内容】 1. 『平家公達草紙』の基礎知識 2. 「内裏近き火」 3. 「青海波」① 4. 「青海波」② 5. 「青海波」③ 「花陰の鞠」 6. 「公達の盗人」① 7. 「公達の盗人」② * 授業後、manaba より小テスト出題。 8. 「かたのまもり」 9. 「秋のみやまのもみじ葉」 10. 「将棋倒し」「建春門院の面影」① 11. 「建春門院の面影」② 12. 「重衡とその想い人たち」① 13. 「重衡とその想い人たち」② 14. 「東北院の遊び」 15. 「隠れ蓑の中將」 授業のまとめ * 授業後、manaba より期末テスト出題。</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> 授業に必要なレジュメは、manaba 掲示板を通じてデータで配布する。授業までにダウンロードし、必要に応じて印刷をして備えること。授業内でレジュメの配布はしない。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等></p>				
<p>【成績評価の方法】 小テスト及び定期試験 (manaba のレポート機能を用いて行う。プリント・ノート類の利用可)</p>				

対面授業				15013
授業科目名:近代文学特講 I				担当教員氏名:山根 知子
Special Lecture on Modern Japanese Literature I				<p>取り扱う作品が指示されたら、必ず読んで授業に臨むこと。</p> <p>講義形式ではあるが、受講者が自身の考えを述べる機会を随時設けるので、常に自己の考えをノートしておくこと。</p>
履修年次 2～4	2 単位	1 期	1コマ	定員 5 人
<p>【授業の目的】</p> <p>岡山市出身の小説家・児童文学作家である坪田譲治の作品を読み深めることができ、作品の特質の理解とともに作家の特質を考えることができるようになる。</p> <p>さらに、講義内容によって得た知識から、履修者は発展的に、作家の作品とその思想が同時代の問題および岡山を舞台とした風土の問題とどのように関係するかについて、テキスト分析と同時代資料の調査を実行する力と、それをもとにみずから考察して読解を深める力を身につけ、その成果としてのレポートを仕上げる。</p> <p>授業中の課題では、コメントシートへの記入のほか、口頭発表も取り入れることで、自分の思考内容を人に伝える力としての表現力を養う。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション 2 坪田譲治年譜による作家理解 3 作品と同時代および風土について 4 坪田譲治の作品理解 5 学生による「感想」「イラスト」についての発表 (岡山市主催「学生による坪田譲治ワールドへの招待」への応募内容について各自発表) 6 映像授業「第一部 坪田譲治の生涯」 7 童話集『かっぱとドンコツ』および 6 の解説 8 映像授業「第二部 作品から学ぶ坪田譲治」 9 小説「風の中の子供」および 8 の解説 10 映像授業「第三部 坪田譲治の時代から学ぶ岡山」 11 10 の解説および期末レポート課題の説明 12 同時代資料を使った小説の読解 13 同時代資料を使った童話の読解 14 期末レポート仮提出とそのフィードバック 15 作品分析と作家理解について <p>期末レポート本提出</p>				
<p>【テキスト】 担当教員より印刷物等を配付</p>				
<p>【参考図書】 なし</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>授業中の課題と発表: 30%、レポート(仮提出・本提出): 70%</p>				

対面授業				15014
授業科目名:近代文学特講Ⅱ				担当教員氏名:山根 知子
Special Lecture on Modern Japanese Literature Ⅱ				<p>取り扱う作品が指示されたら、必ず読んで授業に臨むこと。</p> <p>講義形式ではあるが、受講者が自身の考えを述べる機会を随時設けるので、常に自己の考えをノートしておくこと。</p>
履修年次 2～4	2 単位	2 期	1コマ	定員 5 人
<p>【授業の目的】</p> <p>岩手県花巻市出身の児童文学作家・詩人である宮沢賢治の作品を読み深めることができ、作品の特質の理解とともに作家の特質を考えることができるようになる。</p> <p>さらに、講義内容によって得た知識から、履修者は発展的に、作家の作品とその思想が同時代の問題および岩手を舞台とした風土の問題とどのように関係するかについて、テキスト分析と同時代資料の調査を実行する力と、それをもとにみずから考察して読解を深める力を身につけ、その成果としてのレポートを仕上げる。</p> <p>授業中の課題では、コメントシートへの記入のほか、口頭発表も取り入れることで、自分の思考内容を人に伝える力としての表現力を養う。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 インTRODクシヨン 2 宮沢賢治年譜による作家理解 3 作品と同時代について 4 作品と風土について 5 宮沢トシ「自省録」 6 童話「虔十公園林」 7 童話「めくらぶだうと虹」 8 童話「アラムハラドの見た着物」 9 童話「ひかりの素足」 10 童話「マグノリアの木」 11 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—作品成立過程 12 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—作品構造 13 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—信仰と科学 14 レポート仮提出とそのフィードバック 15 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—農民芸術論と新世界 <p>レポート本提出</p>				
<p>【テキスト】『わたしの宮沢賢治—兄と妹と「宇宙意志」—』(ソレイユ出版 1200 円) 担当教員より授業初回到販売する。</p>				
<p>【参考図書】 なし</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>授業中の課題と発表: 30%、レポート(仮提出・本提出): 70%</p>				

対面授業				15015
授業科目名:近代文学特講Ⅲ			担当教員氏名:長原 しのぶ	
Special Lecture on Modern Japanese Literature Ⅲ				
履修年次 2～4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 現在でも映画化・キャラクター化される太宰治とその作品を取り上げる。太宰作品を具体的に読み解き、普遍的な作家の魅力に繋がる特徴を考えていく。太宰の文学活動と重なる近代(昭和)の戦争期という時代背景を理解し、文学と戦争との関わりを考察する。太宰文学を通して、時代と社会を論理的に言語化する力を身につける。</p>				
<p>【授業内容】 1 イン트로ダクション(導入と授業の進め方) 2 太宰治の生涯について 3 現代に生きる太宰治(サブカルチャーへの継承と展開) 4 前期文学の特徴 5 中期文学の特徴 6 後期文学の特徴 7 前期作品の読解① 8 前期作品の読解② 9 中期作品の読解① 10 中期作品の読解② 11 太宰治と戦争 12 後期作品の読解① 13 後期作品の読解② 14 太宰治とキリスト教 15 太宰治の死と戦後</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> 授業中に適宜資料プリントを配布する。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> 授業中に適宜資料プリントを配布する。資料プリント内で指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 課題プリントとコメント用紙の提出(40%) 期末レポート(60%)</p>				

対面授業				15016
授業科目名:近代文学特講IV			担当教員氏名:長原 しのぶ	
Special Lecture on Modern Japanese Literature IV				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 近代と現代の作家・作品に結びついた様々なメディアに着目し、取り上げる文学作品を読み深めるとともに、異なる媒体(マンガ・アニメ・映画)の中で変容する文学のあり方を探る。作家・作品の背景となる時代状況と現代のメディアから読み取る社会状況を理解した上で、作家・作品の特質を考え、現代の文化に新しく繋がる文学の魅力を論理的に言語化する力を身につける。</p>				
<p>【授業内容】 1 イン트로ダクション(導入と授業の進め方) 2 文学研究の方法から探るマンガの世界① 3 文学研究の方法から探るマンガの世界② 4 現代の文化(マンガ・アニメ・映画)と文学について 5 文学とマンガ―太宰治・泉鏡花 6 作品読解① 7 作品読解② 8 文学とアニメ―堀辰雄・梶井基次郎 9 作品読解③ 10 作品読解④ 11 文学と映画―松本清張・太宰治 12 作品読解⑤ 13 作品読解⑥ 14 メディア拡大する教科書の中の作家達① 15 メディア拡大する教科書の中の作家達②</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> 授業中に適宜資料プリントを配布する。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> 授業中に適宜資料プリントを配布する。資料プリント内で指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 課題プリントとコメント用紙の提出(40%) 期末レポート(60%)</p>				

対面授業				15017
授業科目名: 日本語学特講Ⅱ			担当教員氏名: 尾崎 喜光	
Special Lecture on Japanese Linguistics Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 日本語の特徴の一つである「敬語」について、その基本的なしくみを講義する。また、方言や外国語の敬語についても言及する。</p>				
<p>【授業内容】 1 ガイダンス、敬語を学ぶ必要性 2 丁重語・尊敬語 3 謙譲語Ⅰ 4 謙譲語Ⅱ(丁重語) 5 美化語 6 授受表現(1) 7 授受表現(2) 8 敬語の誤り・概説(1) 9 敬語の誤り・概説(2) 10 敬語の誤り・各論(1) 11 敬語の誤り・各論(2) 12 敬語の誤り・各論(3) 13 敬語の誤り・各論(4)、全体の復習 14 方言の敬語 15 外国語の敬語 定期試験</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> 使用しない。第1回のガイダンスにおいて、必携書に関連する指示をする。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> 国立国語研究所編『国立国語研究所報告 123 言語行動における「配慮」の諸相』(くろしお出版)</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業への参加姿勢(出席): 10% 毎授業後に行なう小テスト: 20% 期末試験(定期試験): 70%</p>				

対面授業				15018
授業科目名: 日本語学特講IV			担当教員氏名: 星野 佳之	
Special Lecture on Japanese Linguistics IV				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 日本語の文法について考察する(現代語及び古代語)。いわゆる学校文法の「連用・連体」「主語・述語」「格」等の術語は、目にするが実のところよく理解されていないことが多い。これらの概念と文法論的諸問題の整理を通して、日本語の文法をどう把握するのが妥当なのか考えていく。 今年度は、例示の「副助詞」類としてクライの副助詞用法の発生過程を探りたい。</p>				
<p>【授業内容】 第1回 「法」という範疇 第2回 品詞について 第3回 述語について 第4回 副助詞と係助詞について 第5回 副助詞各論 1 第6回 副助詞各論 2 第7回 副助詞各論 3 第8回 副助詞各論 4 第9回 副助詞各論 5 第10回 副助詞各論 6 第11回 副助詞各論 7 第12回 副助詞各論 8 第13回 副助詞各論 9 第14回 副助詞各論 10 第15回 副助詞各論 11 定期試験</p>				
【テキスト】				
<p>【参考図書】 ●国立国語研究所のコーパスWebアプリ『中納言』の利用が必須。受講する場合は利用申請を行うこと。 https://chunagon.ninjal.ac.jp/auth/login?service=https%3A%2F%2Fchunagon.ninjal.ac.jp%2Fj_spring_cas_security_chec</p>				
<p>【成績評価の方法】 定期試験として、期末レポートを課す。</p>				

対面授業				15019
授業科目名:社会心理学			担当教員氏名:中山 ちなみ	
Social Psychology				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	定員 5 人
<p>【授業の目的】 社会心理学における基礎概念や重要研究を解説・紹介し、具体的な事例と関連させながら、人間関係や社会事象について考察してゆく。この考察を通して、「社会的存在」としての人間の意識や行動が、どのように形成され、どのような社会的現象となって現れるのかというメカニズムを理解し、自己および人間・社会への洞察を深める。</p>				
<p>【授業内容】 1 イン트로ダクション 2 社会の中の「私」 3 自己の2側面 4 行為と意識 5 意識の基本構造 6 行為の意図せざる帰結 7 欲求 8 態度とは 9 態度の一貫性の諸理論と事例 10 社会心理学における実験の位置づけ 11 対人魅力の決定要因 12 援助行動 13 リーダーシップ 14 社会的ジレンマ 15 まとめ 定期試験(筆記試験)</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> テキストは特に指定しない。ほぼ毎回プリントを配付する。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> 授業中にその都度、紹介する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 筆記試験:75% 課題レポート:10% リアクションペーパー:15%</p>				

対面授業			15020	
授業科目名: 社会集団・組織論			担当教員氏名: 濱西 栄司	
Social Groups and Organizations				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本授業の主な目的は、社会学の基礎理論の一つである「社会集団・組織論」の理解を通して、現代社会を捉えるための基本的な視座や技法を修得することにある。授業の前半では、経済・政治をめぐる代表的な社会組織（「会社」、協同組合、行政組織、国際機関、NPO・NGO など）を、その近現代史と絡めつつ学ぶ。後半では、多様な社会現象を、集団・組織の戦略的活動や組織関係の現れとして分析していく基本的な視座・技法を修得していく。</p> <p>授業では主に Google Classroom を用いて各回の自学習やフィードバック、期末レポートの管理を行う。また自学習を前提として、隣席学生同士（2~3 名）で簡単に意見交換する時間を設けるようにしている。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション: 社会学と社会集団・組織論 <第 I 部 現代の代表的組織> 類型とアソシエーション ——経済: 会社とそれ以外—— 「会社」の近現代史 企業倫理と企業の社会的責任 (CSR)、SDGs 同業組合/労働組合の近現代史 労働組合の現在とこれから オルタナティブとしての協同組合 NPO、社会的企業、ソーシャル・ベンチャー ——政治: 国家と運動—— 近代国民国家の形成 グローバル・ガヴァナンス 業界団体と社会運動 <第 II 部 組織の研究> 社会学的組織研究: フリーライダーと集合行為論 社会学的組織研究: 資源動員論 社会学的組織研究: 事例・問題からのアプローチ まとめとこれから 				
<p>【テキスト】 毎回、レジュメを配布する</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業への取り組み: 30% 確認テスト: 30% 期末レポート: 40%</p>				

対面授業			15021	
授業科目名: 宗教社会学			担当教員氏名: 福田 雄	
Sociology of Religion				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 「宗教的な意味」を持つ行為は、何も特定の宗教的場面に限られるものではなく、私たちが日常生活の中であまり意識することなく繰り返し行っている習慣や、災害に襲われたときに夢中で行っている行為の中などに、数多く見られます。 本授業では、宗教と社会の関係について、できるだけ身近な振る舞いや具体的な事例を手掛かりにして掘り下げ、現代社会を理解するための技能を修得します。私たちにとって宗教はどのような意味を持つのかというテーマにかんする知識を、全 15 回の授業を通して学びます。 前半では、今日的なトピックに関連させながら宗教社会学の視点を理解してもらいます。後半では、苦難という観点に焦点を当てながら、事例研究や古典的研究を学びます。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 初詣は「宗教」か？ 3. 「宗教」とは何か？ 4. 宗教の定義とその目的 5. 折り鶴を燃やすことはなぜ悪か？ 近代社会の聖なるもの 6. 生きることを強いることはいかに可能か？ 諸外国の事例 7. 生きることを強いることはいかに可能か？ 日本の事例 8. なぜ災いをもたらされたのか？ 永井隆の燔祭説 9. なぜ災いをもたらされたのか？ 燔祭説への批判とその社会的文脈 10. 津波の意味づけ スマトラ島沖地震の津波記念式典 11. 津波の意味づけ 東日本大震災の慰霊祭・追悼式 12. 「無宗教」式の慰霊祭・追悼式 13. 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」における「天職」概念 14. 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」における「予定説」 15. まとめと振り返り 				
【テキスト】				
<p>【参考図書】 福田雄 2020 『われわれが災禍を悼むとき——慰霊祭・追悼式の社会学』慶應義塾大学出版会 (ISBN 978-4-7664-2654-0)</p>				
<p>【成績評価の方法】 定期試験(90%) リアクションペーパー(10%)</p>				

対面授業				15022
授業科目名:ジェンダー論			担当教員氏名:山下 美紀	
Gender Studies				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
【授業の目的】 本講義では、日常生活において自明視されている「ジェンダー」や「性」にまつわるさまざまな常識・社会現象や社会問題を取り上げ、検討を加える。ジェンダーに関する基本的な理解を深め、さらに、社会・文化的な性のありようを作り出している構造を解き明かし、現代的課題を提示する。				
【授業内容】 1. 授業の概要説明 2. 「ジェンダー」研究の誕生と発展 3. ジェンダー論の基礎① セックスとジェンダー・グループディスカッション 4. ジェンダー論の基礎②ジェンダーとは何か 5. ジェンダー論の基礎③第1波フェミニズム 6. ジェンダー論の基礎④第2波フェミニズム 7. ジェンダーの社会的構築 8. ジェンダー秩序とジェンダー体制・中間試験 9. ジェンダーの再生産 10. 子ども期のジェンダー 11. メディアとジェンダー 12. 青年期のジェンダー 13. 日常生活のなかのジェンダー 14. 男性学とジェンダー・中間試験 15. 現代社会とジェンダー				
【テキスト】 使用しません				
【参考図書】 <参考書等> 参考文献・資料等については講義中に指示する。 適宜資料を配布する。				
【成績評価の方法】 課題レポート:10% 期末レポート:30% 中間試験2回実施:60%				

対面授業				15023
授業科目名:現代社会学特講 I			担当教員氏名:二階堂 裕子	
Special Topics in Modern Sociology I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本授業では、国境を越えて移動する労働者について学ぶ。その目的は、グローバル化の影響のもとで生じる社会現象や社会問題を社会学的な視点から読み解く力を培うこと、また、その過程で自己の価値観を相対化し、新たな視点を獲得することにある。まず、国際的な労働力移動に関する研究動向を概観し、こうした現象を捉えるための基礎知識を身につける。次に、日本の国際移動をめぐる歴史的経緯や背景について理解する。続いて、日本社会における外国人の労働現場に目を向け、外国人の就労実態や日本人との関係のありようを検討する。以上を通して、国際労働力移動をめぐる諸現象や諸問題が、そこに関わる人々の意識や行動とどのように関わり合っているのかについて考察する。</p>				
<p>【授業内容】 1. 国境を越えたグローバルな労働力移動 2. 歓迎される移民と排除される移民 3. 国際労働移動とジェンダー 4. 世界都市における分極化 5. 日本社会と移民 6. 日本人の海外移住 7. 日本における産業構造の変化と労働市場開放 8. デカセギ日系人の流入 9. 日系人の顔の見えない定住化 10. 外国人技能実習制度の現状と課題 11. 技能実習生の就労現場 12. 技能実習生の受け入れ政策 13. 送出国からみた外国人技能実習制度 14. 「食の外部化」と外国人労働者 15. 介護現場の外国人労働者</p>				
<p>【テキスト】 使用しない。</p>				
<p>【参考図書】 講義中に適宜資料を提示するほか、参考書なども紹介する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 毎回の小課題(授業で学んだことや意見):30% 期末レポート:70%</p>				

対面授業			15024	
授業科目名: 日本社会史 II			担当教員氏名: 久野 洋	
Social History of Japan II				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本授業では、近世から近現代にかけての日本社会の具体的なありようと、その変容過程について考察する。高等学校までの日本史の中心的な話題は、政治権力や政策レベルの歴史だったかもしれない。この授業では、とりわけ村や都市といった地域社会と国家・権力との関係を捉えることで、日本社会の歴史的展開をより深く理解することを目指す。その際、史料にもとづきながら、地域に生きた人々が抱えた矛盾・葛藤を具体化し、各時代における社会のゆがみを見定めることに注力する。</p>				
<p>【授業内容】 1. はじめに 2. 徳川社会で生きる 3. 「徳川システム」のゆらぎ 4. 開国と幕末社会—地域の視点から— 5. 近代化と地方名望家 6. 近代化と地域の民衆 7. 明治社会で生きる 8. 「家」と農村の女性 9. 小括 10. 都市民衆騒擾の時代 11. 第一次世界大戦後の大衆社会化 12. 恐慌の時代 13. 民衆はなぜ戦争に「協力」したのか 14. 総力戦体制下の矛盾 15. むすび</p>				
<p>【テキスト】 使用しない。</p>				
<p>【参考図書】 ・渡辺尚志『百姓の力—江戸時代から見える日本—』(柏書房、2008 年／角川ソフィア文庫、2015 年) ・松沢裕作『生きづらい明治社会—不安と競争の時代—』(岩波ジュニア新書、2018 年) ・季武嘉也編『日本の近現代—交差する人々と地域—』(放送大学教育振興会、2015 年) ・大門正克『戦争と戦後で生きる』(小学館、2009 年) その他の文献については授業中に適宜紹介する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 期末試験ト 70% リアクションペーパー・授業への取り組み度 30%</p>				

対面授業				15025
授業科目名: アジア社会史 I			担当教員氏名: 鈴木 真	
Social History of Asia I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 かつて中国には、千四百年にわたって実施された科挙と呼ばれる制度が存在した。この制度は王朝を支える官僚候補生の代表的な選抜・任用制度であったが、前近代中国社会における人びとの思想や文化・習俗を色濃く反映していた。そのため、なぜこのような制度が必要とされたのか、その制度とはいかなるものであったのか、そして人びとにどのような影響を及ぼしたのかという問題の解明は、中国の歴史・社会そのものを知ることに繋がる。以上のような問題意識のもと、本授業では科挙を題材としてとりあげ、古代～近代における儒教や知識人の世界を中心に講義する。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国社会における王朝と民衆とのかかわり 2. 県と郷村 3. 中国における官僚登用の歴史(1)——漢 4. 中国における官僚登用の歴史(2)——魏晋 5. 中国における官僚登用の歴史(3)——隋唐 6. 中国における官僚登用の歴史(4)——宋 7. 科挙合格と官僚任官による社会的成功 8. 士大夫の理念 9. 民衆と胥吏と官僚 10. 科挙合格までの長い道のり 11. 科挙の盛行と宗族の発展 12. 宗祠・族譜・義荘 13. 科挙と移住 14. 科挙の廃止と近代中国 15. 科挙は近現代の中国社会に何をもたらしたか 				
【テキスト】				
<p>【参考図書】 参考文献は講義中に適宜紹介する。また毎回資料プリントを配付する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 小レポート: 10% 期末試験: 90% (持込み不可の長文論述試験を、対面でおこなう)</p>				

対面授業				15026
授業科目名:ヨーロッパ社会史Ⅱ			担当教員氏名:轟木 広太郎	
Social History of Europe II				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
【授業の目的】 ヨーロッパ史における「罪と罰」「犯罪と刑罰」を取り上げる。千数百年の間に正義と悪の問題がヨーロッパ社会のなかでどのように移り変わってきたかを検討する。前半は宗教世界、後半は世俗世界が対象となる。				
【授業内容】 1. 宗教世界の罪と罰 2. 古代末期の贖罪 3. 中世前期の贖罪 4. 中世後期・近世の贖罪 5. あの世の裁き 6. 異端審問 7. 魔女と悪魔 8. 中世前期;神判 9. 中世盛期;罰金刑 10. 近世;身体刑 11. 近世;国王の正義 12. 18世紀の刑法改革 13. 近現代;監獄刑 14. 近現代;一望監視 15. 近現代;犯罪学				
【テキスト】 毎回の授業で資料教材を配布する。				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 平常点(15%) レポート(85%)				

対面授業				15027
授業科目名:考古学 I			担当教員氏名:紺谷 亮一	
Archeology I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
【授業の目的】 考古学の方法論についての基礎的知識の習得を図る。土器、石器、遺構、人骨、植物遺存体、動物骨の見方、放射性炭素年代測定法について学ぶ。考古学は基本的にモノの分析を通して、当時の社会復元を目指すことを理解する。そして発掘調査による、具体的なデータ蓄積、資料操作なしに、考古学的進歩が無いことを明らかにする。				
【授業内容】 1 講義概要 2 考古資料とは何か 3 考古資料の見方 4 考古学の年代 5 考古学データの扱い方 6 考古学と民族学・民俗学 7 文献資料と考古資料 8 日本考古学の起源 9 魏志倭人伝とは何か 10 魏志倭人伝の内容考察 11 魏志倭人伝の考古学的評価 12 発掘調査とは 13 発掘調査の方法と意義 14 考古学とマスコミ 15 総括				
【テキスト】 <必携書> 『魏志倭人伝の考古学』, 佐原真著, 岩波書店, 2003 年				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 レポート(2 回) 50% ノート提出 50%				

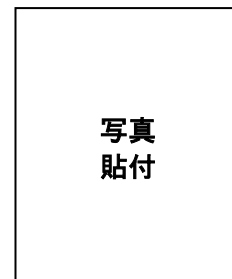
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

ノートルダム清心
女子大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号		性別	生年 月日	西暦 年	
		女		元号()	年
現住所	〒 - Tel () -				
メールアドレス	@				

* 履修受付締切日：前期：4月4日(木)まで 後期：9月12日(木)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
15001	キリスト教学Ⅰ	教養	山根 道公	2	2期	1~4	女子のみ	木 14:45~16:15		
15002	キリスト教学Ⅱ	教養	岡田 紅理子	2	1期	2~4	女子のみ	火 10:45~12:15		
15003	キリスト教学ⅩⅥ	教養	山根 道公	2	1期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15004	英語学・言語学研究ⅣA	専門	齋藤 衛	2	1期	2~4	女子のみ	木 9:00~10:30		
15005	英米文学研究ⅢA	専門	新野 緑	2	1期	2~4	女子のみ	木 16:30~18:00		
15006	英米文学研究ⅢB	専門	新野 緑	2	1期	2~4	女子のみ	木 16:30~18:00		
15007	古代文学特講Ⅰ	専門	東城 敏毅	2	1期	2~4	女子のみ	水 9:00~10:30		
15008	古代文学特講Ⅱ	専門	東城 敏毅	2	2期	2~4	女子のみ	月 14:45~16:15		

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
15009	古代文学特講Ⅲ	専門	中井 賢一	2	1期	2~4	女子のみ	金 14:45~16:15		
15010	古代文学特講Ⅳ	専門	中井 賢一	2	2期	2~4	女子のみ	金 14:45~16:15		
15011	中世文学特講Ⅰ	専門	江草 弥由起	2	1期	2~4	女子のみ	水 10:45~12:15		
15012	中世文学特講Ⅱ	専門	江草 弥由起	2	2期	2~4	女子のみ	水 10:45~12:15		
15013	近世文学特講Ⅰ	専門	山根 知子	2	1期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15014	近世文学特講Ⅱ	専門	山根 知子	2	2期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15015	近代文学特講Ⅲ	専門	長原 しのぶ	2	1期	2~4	女子のみ	水 10:45~12:15		
15016	近代文学特講Ⅳ	専門	長原 しのぶ	2	2期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		
15017	日本語学特講Ⅱ	専門	尾崎 喜光	2	1期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15018	日本語学特講Ⅳ	専門	星野 佳之	2	2期	2~4	女子のみ	火 10:45~12:15		
15019	社会心理学	専門	中山 ちなみ	2	1期	2~4	女子のみ	火 9:00~10:30		
15020	社会集団・組織論	専門	濱西 栄司	2	1期	2~4	女子のみ	木 14:45~16:15		
15021	宗教社会学	専門	福田 雄	2	1期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		
15022	ジェンダー論	専門	山下 美紀	2	1期	2~4	女子のみ	水 13:00~14:30		
15023	現代社会学特講Ⅰ	専門	二階堂 裕子	2	1期	2~4	女子のみ	火 14:45~16:15		
15024	日本社会史Ⅱ	専門	久野 洋	2	2期	2~4	女子のみ	木 14:45~16:15		
15025	アジア社会史Ⅰ	専門	鈴木 真	2	1期	2~4	女子のみ	木 9:00~10:30		
15026	ヨーロッパ社会史Ⅱ	専門	轟木 広太郎	2	2期	2~4	女子のみ	火 16:30~18:00		
15027	考古学Ⅰ	専門	紺谷 亮一	2	1期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	0 枚	1 枚